

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2015年12月14日～2015年12月20日】

[当地報道をもとに作成]

平成27年12月22日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【南オセチア】

▼第61回IPRM会合(16日)

・第61回IPRM会合がエルグネティで開かれた。参加者は行方不明者、拘束、ジョージア政府管理空域への航空機の侵入などについて議論。共同議長 EUMM および OSCE は新年の時期の住民による行政境界線の通過に対する寛大な対応を求めた。

・会合後、南オセチア側の代表者であるサナコエフ元「南オセチア共和国外相」は、パンキシ渓谷に潜む ISIL 戦闘員が露軍基地や南オセチアの露国境警備隊に対する攻撃を準備していると発言。

・ベライア・ジョージア国家保安庁分析局長は、サナコエフ元「南オセチア共和国外相」の発言の内容を否定し、ジョージア政府はパンキシ渓谷の状況をコントロールしているとコメントした。

2. 外 政

▼内相の訪米(17日)

・ムゲブリシヴィリ内相が訪米。米国の連邦捜査局長、国際麻薬・法執行局局长、麻薬取締局長らと会談。また、ジョージア州を訪問し、ジョージア州捜査局長ら州の法執行機関の代表者らと会談。

・「ム」内相は、ジョージア政府は組織犯罪やテロとの闘いにおける米国との密接な協力を重視していると述べた。

▼アゼルバイジャン、ジョージア、トルコ3カ国国防相会談(17日)

・イスタンブールでアゼルバイジャン、ジョージア、トルコの3カ国の第3回国防相会談が行われた。会談後、ヒダシェリ・ジョージア国防相は、「欧州やNATOに対する我々のメッセージは明快である。欧州の安全、安定および多角的なエネルギー資源供給を望むならば、平和で安定的かつ安全な黒海・コーカサス地域が必要である」と述べた。

・並行して、「ヒ」国防相はユルマズ・トルコ国防相とも個別に会談。ジョージア国防省によれば、「ユ」トルコ国防相は最近の露・トルコ関係に関する詳細な情報をジョージア側に提供し、ジョージアからの支援と連帯に対して感謝を述べた。「ヒ」国防省は、両国が共同訓練や軍事教育プログラムに関する取り組みを継続すると述べた。

▼プーチン露大統領の発言(17日)

・プーチン露大統領はモスクワでの年次記者会見で、ジョージアのTV局「Maestro TV」の記者に露・ジョージア

関係および査証について質問され、「ジョージアの領土一体性は、これは第一にジョージア、南オセチア、アブハジアの人々次第である。あなた方(ジョージア国民)は彼ら(南オセチア、アブハジア)と共に取り組まねばならない。我々はいかなる決定も受け入れる」、「査証に関しては、我々はジョージアに対する査証の撤廃を考慮しており、その用意がある」と発言。

・アバシゼ対露関係首相特別代表とカラーシン露外務次官との対話において、査証要件の緩和が常に取り上げられてきたが、この問題に関してこれまでロシア側は、両国の外交関係が復活しない限りは査証の撤廃は難しいとの立場であった。

・「プ」露大統領の発言を受け、ガリバシヴィリ首相は(「プ」露大統領の発言は)「正しい措置である」との声明を発表。ジョージア政府は既に2011年にロシア国民に対する査証を撤廃している。

▼査証自由化行動計画に関する欧州委員会の最終報告書(18日)

・欧州委員会がEU・ジョージア査証自由化行動計画に関する最終報告書を発表。報告書は、ジョージアは行動計画の全ての項目を達成したとして、2016年の早期にジョージア国民のシェンゲン圏内への無査証での渡航を許可するようEU加盟諸国に提案すると述べている。

・欧州委員会が査証自由化について法改正を提出した場合、その発効には、欧州議会およびEU加盟諸国が承認せねばならない。ジョージア側はこのプロセスが2016年半ばまでに完了するよう期待している。その後、生体認証機能付きの旅券を持つジョージア国民は任意の180日間のうち90日間、無査証で複数回シェンゲン域内に入ることができるようになる。

・マルグヴェラシヴィリ大統領およびガリバシヴィリ首相は欧州委員会の報告書の内容を歓迎する声明を発表。

▼ポーランド国防相がジョージアを訪問(20日)

・マツェレヴィチ・ポーランド国防相がジョージアを訪問。ヒダシェリ国防相と会談。NATO・ジョージア実質的パッケージの実施やジョージア軍の特殊作戦部隊、軍事警察の強化に対するポーランドの支援、地域の安全保障環境などについて議論された。

3. 内 政

▼国会が小選挙区の変更に係る法改正の第二読を承認(18日)

・国会は小選挙区の変更に係る法改正の第二読を承認。選挙区間の有権者数の隔たりを小さくするため、12日

に承認された第一読から更に大きく修正された。現行の制度で10の小選挙区に分かれているトビリシ市は、第一読では18の小選挙区に分割されることになっていたが、第二読では更に22の小選挙区に分割された。

・地方の人口の少ない複数の小選挙区が一つにまとめられ、小選挙区の境界が行政単位の境界線と一致しない場合が発生しており、野党は、有権者の混乱を招くとして、第一読よりも悪くなったと批判。

4. 経 済

▼2015年11月の工業製品生産者物価指数(15日)

・国家統計局が発表。前月比 0.8%上昇、前年同月比 8.2% 上昇。

▼政策金利の引き上げ(16日)

・ジョージア国立銀行は通貨政策委員会会合を開き、政策金利を 0.5%引き上げ、8%とすることを決定。「追加的なショックが起きない限り、近い将来の更なる引き締めは考えにくい」とのコメントを発表。

・11月の年間インフレ率は6.3%で2011年8月以来最高を記録した。国立銀行は、インフレ率は今後段階的に低下し、2016年後半には目標インフレ率5%に戻ると予測している。